

どうどう淵

所在地：高山村大字尻高（関田）



★どうどう淵とは……？

今よりも名久田川の水量が多かった頃、関田地区上流部で数丈の滝となり、その下が深い淵となっていて、滝の音がどうどうと遠くまで響いたので「どうどう淵」と呼ばれました。岩盤の表面に水流の浸食によってくぼみができて、そこに小さな石が入ると、渦流によって小さな石が回転し、丸みを帯びた穴になる「甌穴^{おうけつ}」もみられます。滝壺の甌穴は、深さ50cm、直径20cmにもなります。

この淵には貸椀伝説をはじめとした様々な伝承が残っています。

★「貸椀伝説」って何？

どうどう淵の貸椀伝説について『たかやまの文化財』や、『高山村の民俗』などには以下のような記載があります。

「人寄せができたが膳椀がたりないので泉照寺に借りに行ったところ、住職に「この淵に立って祈りをささげなさい」と言われたので、そうすると、膳椀が淵の中からあらわれ、用が済んで淵に返しに行く川底へ沈んでいきました。この

事がうわさとなって、どの家でも借りるようになりましたが、ある家で皿をこわし、返さないことがあってから、借りることができなくなってしまいました。」

昔は、自宅に家族分以外の食器を所有していない家が多くありました。そのため、集まりがある際にはお椀が足りず、集落を取りまとめていた寺院や近所の家へ借りに行くことがあったのです。

この「貸椀(椀貸)伝説」は日本中に点在しており、民俗学者の柳田國男や高木敏雄が『郷土研究』という月刊誌を共同編集した際に本格的な体系化が行われました。

椀を貸してくれる相手や場所は様々ですが、どうどう淵の伝説と類似の経緯で椀を借り、ある日返さないことがあって借りられなくなるまでが定石のようです。「返さなかったお椀」や「返さなかったため残った借用書」についての後日談が残る土地や、国外にも類似した伝説があるといえます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いて、国内外旅行へ行かれた際に「貸椀伝説」を見かけたら、「どうどう淵」の伝説と比較してみてください。

※参考文献

- ・『たかやまの文化財』高山村教育委員会事務局／編、高山村教育委員会／発行、2018.3.30改訂版
- ・『高山の地名』高山村教育委員会事務局／編、高山村教育委員会／発行、1998.3.30
- ・『高山村の民俗』群馬県教育委員会／編、1979.3
- ・川村清志「椀貸し伝説再考 ―近代における伝説の生成と受容―」京都大学人文學報(1997),1997.3
- ・『縮刷版日本民俗事典』大塚民俗学会／編 1994.6.30

12月の星空

○星図の説明

15日午後8時の星空です。

月初めの午後9時、月末の午後7時にも同じ星空になります(「月」を除く)。

※ふたご座流星群は13日と14日の夜9時～未明までが見頃です。



リトルミュージアム

『クリスマスのリースをつくりました!』

ごとう まい さん
「大きくなったら、「お菓子屋さん」になりたいです」



つづき かなめ さん
「大きくなったら、「レーシングドライバー」になりたいです」



～2021.11.2 高山小学校 鼓笛発表～

カメラフォト
ショット



こちら「地域おこし支援隊 大沢雅美」

こんにちは。地域おこし協力隊の大沢です。

どこを見渡しても彩り豊かに葉が色づき、日中は暖かくお散歩日和が続いています。

実は、高山村を巡るスタンプラリー「たからのやま巡り」にも、おすすめのお散歩コースがあります。歩いていると車では目に留まらなかったものや、ふと立ち止まった時のなんともいえない風景があったりして、また違った高山村を見つけた気持ちになります。

「たからのやま巡り」のイベント企画で先月は、Kimidori Farm & Kitchenさんの畑で「芋ほり体験」のイベントを開催しました。始めは、もみ殻くん炭で焼きいもづくり。もみ殻は、お米の外側の皮の部分。それを炭にして撒くと、土の環境を整えてくれます。もみ殻くん炭をつくる時に発する熱でじっくりじっくり1時間焼いていきます。焼きいもができるまでにみんなが芋ほり。ツルをきって、ツルの周りを掘っていくとお芋がどんどん出てきます。お芋を掘った後は、芋のツルでリースをつくり、ホクホクのお芋も食べたり、遊ん



だり…近所の子どもたちも集まってくれて、元気いっぱい芋ほり体験となりました。

来月は、雙松寺さんでゆっこさんと一緒にこんにやくづくり体験を開催します。これからも定期的に村の人と村外の人とが繋がるイベントを開催していけたらと思います。

★たからのやま巡り イベントのご案内★

ゆっこさんこんにやくづくり

◎日程 2021年12月4日

(土)13時15分～15時頃まで(集合:13時)

◎参加費 1500円(味噌田楽・お持ち帰りのこんにやく付)

◎参加人数 8名(お子さんと一緒に参加可)

◎持ち物 エアロン、寒くない恰好

◎問い合わせ 0279-926-7944 (地域振興課 大沢宛)